

重要課題(マテリアリティ)

新光電気グループは、企業理念や経営方針等の内部的要素と、主要な国際的サステナビリティ関連ガイドラインや社会的要請等の外部的要素をふまえ、多様なサステナビリティ課題の中から優先的に取り組むべき重要課題(マテリアリティ)の選定を行っています。重要課題の選定にあたっては、「新光電気グループの事業における重要性」と「ステークホルダーにおける重要性」の2つの視点から重要性を評価しています。

選定した重要課題については、妥当性の確認を行うとともに定期的に見直しを実施しています。

重要課題選定プロセス

サステナビリティ課題抽出

内部的・外部的要素をふまえ169項目の課題を抽出

重要性評価

当社グループ事業とステークホルダーの2つの視点より重要性を評価

重要課題(マテリアリティ)選定

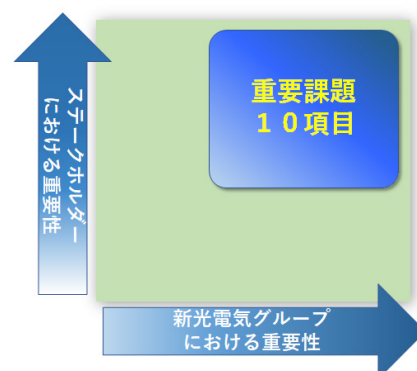
重要性評価の結果をふまえ、重要課題10項目を選定

妥当性確認・見直し

選定した重要課題の妥当性を確認、定期的に見直し

●参照した国際的サステナビリティ関連ガイドライン等

- ① GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード
- ② RBA (Responsible Business Alliance) 行動規範
- ③ ISO 26000
- ④ 国連グローバル・コンパクト
- ⑤ SDGs (Sustainable Development Goals)
- ⑥ SASB (Sustainability Accounting Standards Board)



重要課題(マテリアリティ)

選定した10項目の重要課題(マテリアリティ)について、主管部門が具体的な目標を毎年設定したうえで、各種活動を展開、進捗・課題を確認し、次年度の活動につなげるPDCAサイクルによって取り組みの継続的な向上に努めています。

分野	重要課題(マテリアリティ)	取り組みテーマ
環境課題	1.気候変動	①気候変動への対応 ②エネルギー使用削減
	2.資源循環	①廃棄物削減 ②水使用削減 ③原材料使用削減
	3.自然共生	①生物多様性保全 ②汚染防止 ③有害物質管理
	4.地域社会への貢献・共生	①地域社会との対話・共生
	5.人権・多様性の尊重	①人権の尊重 ②多様性を持った社員の活用 ③LGBTQへの対応
	6.活力ある企業風土の醸成	①ワークライフバランス ②人材育成

分野	重要課題(マテリアリティ)	取り組みテーマ
社会課題	6.活力ある企業風土の醸成	③公正な評価 ④労使関係
	7.安全・快適な職場環境の整備	①労働安全衛生 ②緊急時への準備
	8.サプライチェーンにおける社会的責任の推進	①グリーン調達推進 ②責任ある鉱物調達 ③サプライチェーンにおける人権尊重
	9.技術・品質による社会貢献	①技術・ものづくりによる社会貢献 ②品質の追求による社会的責任遂行
ガバナンス	10.ガバナンスの強化	①コーポレートガバナンス ②コンプライアンス ③リスクマネジメント ④情報保護